

1週間前頃からの変化



寝ている時間が
長くなる

お話できるうちに
伝えたいことがあれば
早めに伝えて
おきましょう



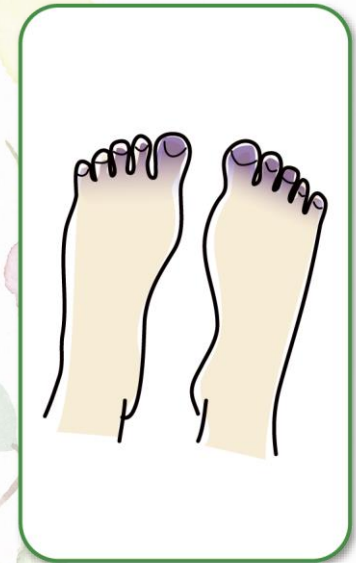
ほとんど
寝ている

穏やかに眠っているのであれば苦痛はありません
見守ってあげてください



のど元でゴロゴロ
音がする

肩やあごを使って呼吸を
するようになりますが
自然な経過でご本人は
苦しくありません



呼吸のリズムが
不規則になる

だんだん脈が
弱くなってくる

手の先が冷たく
青くなってきます



家族だけの大切な時間

ご本人の表情が穏やかであれば苦しくありません。

最後まで耳は聞こえていますので、

話しかけたり体をさすったり、

ご家族との時間を大切にお過ごし下さい。

この資料は在宅緩和ケアサポートパスの 説明資料としてお使いください

在宅緩和ケアサポートパスについて

当サポートパスは、以下の項目の達成を目指して作成いたしました。病診連携や在宅医療を行うすべての医療機関、介護事業者の方々に広く利用していただくためのものです。

- 病院から在宅へのスムーズな移行
- 変化のある療養生活の中で適切な時に適切な医療やサービスを導入
- 患者さんの状態の把握と良好なコミュニケーション
- 在宅医療が中心になってからの訪問看護やケアマネージャー、薬局、ヘルパーなど多職種が関わる中で
のより良い情報交換ツール

緩和ケアを画一的に行うためではなく、必要なことを必要なときに提供していく為のチェックリストとしてのパスとお考えください。記入していくと今行うべきことが見えてきて患者さんの状態評価のアセスメントツールとして使用できます。

サポートパスの利用方法

病の経過を導入期、維持期、看取り期に分けています。それぞれの期に対し医療的関わりの部分、介護的関わりの部分、患者さんやご家族への教育的支援、在宅療養継続に際し困難な点はないかを評価していくことを行っていきます。

説明用資料は、患者さんの症状に合わせて必要なものを、患者さんご本人やご家族への説明時にお使いください。